

小論文

(100点 60分)

【注意事項】

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 問題冊子は1冊4ページ、解答冊子は1冊2ページです。
- 試験開始後、問題冊子や解答冊子に落丁・乱丁がある場合は、直ちに申し出てください。
- 解答冊子は表紙と各ページにある所定の欄のそれぞれに受験番号と氏名を記入してください。
- 試験終了後、解答冊子を回収するので、指示があるまで退席しないでください。
- 問題冊子は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問1から問5に答えなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

(出典　伊藤亜紗著『手の倫理』講談社、二〇一〇年、三〇十五頁　一部改変)

問1 傍線部(1)から(7)のカタカナを漢字で書きなさい。（各五点）

問2 傍線部A・B・Cの意味に一番近い説明を、それぞれ①から④の中から数字で選んで書きなさい。（各五点）

A

① 理性ではなく感覚に働きかけるさま

② はつきりとした実体を備えているさま

③ 頭の中だけで考えていて、具体性に欠けるさま

④ 物の見方や考え方が、多くの人にとつてそうだと考えられるさま

B

① あれこれと思ひめぐらすこと

② 物事の善悪などを見極めること

③ 知識や経験に基づいて筋道を立てて頭を働かせること

④ 物事の成り行きや結果について前もって見当をつけること

C

① 対象を総括して判断し分別する心の働き

② ある対象を気にかけ、大切にする強い気持ち

③ 何かをしようとするときの元となる思いや考え

④ あることを行いたい、または行いたくないという考え

問3 傍線部aからeに、筆者の考えに適合するように のどちらかの語を入れなさい。（各三點）

問4 本文中で筆者が述べている と の違いについて、具体例を示して八十字以上百字以内で説明しなさい。ただし、具体例としてすでに本文中に述べられているものは挙げないこと。（十五点）

問5 傍線部Dで筆者は、
 と述べています。ここで言う について、あなたが考えることを百六十字以上二百字以内で述べなさい。（二十点）

問題文中の 部分は、本文からの引用部分につき、公開できません。